

いいとこいっぱい 池田新聞

池田神社の歴史

池田神社は、戦国時代のとりでです。江戸時代に金比羅神社が、約百年前に、池田地区の九つの神社が一つにまとめられて、新しく「池田神社」が誕生しました。しかしその後、宍粟地区の二つの神社がわかれて元の所に帰ったため、今では七社となり、槇谷地区と見延地区の人びとによってまつられていきます。農業の神様ですが、お参りする人は、健康や受験の神様としてお願いをしています。ほかに、七五三でお参りをしたり、秋のお祭りには子供みこしもあります。



井風呂谷砂防公園ってすごい

昔、高橋川では船を使っているいろいろな物を運んでいました。見延村では、山の木をたくさん切って売りに出したため、井風呂谷川のまわりで山くずれが起こり、大雨の時には、田んぼや畑が流される災害が発生しました。そのため、今から約百三十五年前に、岡山県が全国ではじめての砂防工事（山の土や砂がくずれないようにする工事）をするように。と、命令を出しました。この工事により、その後は、災害がなくなりました。今では国の「有形文化財」という宝物に指ていされ、公園となりました。公園には、「砂防発祥の地」と書かれた大きな石が置かれています。



槇谷ダムで安心

池田で一番北にある槇谷地区の落合川をせきとめて作られたダム。昭和五十一年から十三年間かけて工事が行われました。工事には、二十七億四千万円のお金がかかりました。昔は、大雨が降ると「こう水」などで田んぼや畑、道路が流されて人びとは苦しんでいたけど、ダムのおかげで今では、みんな安心です。

新聞を書いた感想

新聞をかいて、一番たいへんだったのは、井風呂谷砂防公園の文章を書いたことです。国語で新聞を書いたけど、パソコンではやったことなかったから少し難しかったです。また新聞を、書きたいです。

